

欲張らずにWGを選択して予習をきちんとしよう

## IETFミーティングに参加する 方法と準備

Text: 砂原秀樹

### メーリングリストへの参加が 必須

まもなく第57回IETFミーティングがウィーンで開催される(7月13日~18日)。IETFミーティングには誰でも参加できるが、きちんと議論についていくためにはそれなりの準備が必要になってくる。そこで今回は、IETFミーティングへの参加の仕方についてお教えすることにしよう。

IETFへの参加は、まずメーリングリストに参加することから始まる。実際の具体的な議論は各ワーキンググループ(WG)のメーリングリスト上で行われるが、ミーティングに関するアナウンスや基本的な議論は以下の2つのメーリングリストで行われる [URL01](#)。

ietf-announce@ietf.org  
ietf@ietf.org

ietf-announceは、ミーティングの案内や新しいRFC、Internet Draftの発行のお知らせなどを行う。ietfの方は、IETF全般にかかわる議論を行うメーリングリストであり、IETFの運営からWGを特定しない技術的議論に至るまでさまざまな問題について討議が行われている。いずれのメーリングリストについても、参加したい場合は、

ietf-announce-request@ietf.org

ietf-request@ietf.org

に、Subject( 題目 )の部分とメール本文に、「subscribe」とだけ書いたメールを送ればよい。メールが2通送られてくると思うが、Subjectの部分に「Confirmation for subscribe ietf-announce」( または、Confirmation for subscribe ietf )と書かれたメールにしたがって、確認のメッセージを送るとメーリングリストへの参加が完了することになる。

IETFミーティングが近くなると、これらのメーリングリストに自分が興味を持っているWGが何日の何時から行われるのかといったプログラムや、WG内で何を討議するかといった議題(「Agenda」という)が送られてくるので、それらをちゃんとチェックしておくのと良いであろう。右に送られてくる議題の例を示しておく。重要なことは各議論に対応するInternet Draftが示されているということである。基本的に参加者はこれらのInternet Draftを読んでいるという前提で議論が進められるので、参加する前に必ずこれらを読んでおかなければならない。

### 興味のあるWGを探して追う

また議論の要旨をつかむためには、日ごろよりWGのメーリングリストに参加し、議論を追っておくことが重要であろう。各WGのメーリングリストへの参加方法は、

WGごとに異なるので、各WGのホームページを参照していただきたい。

WGのリストページ [URL02](#) から、目的のWGを探し出しアクセスしてみれば良い(画像1参照)。必ず「Mailing Lists」という項目があるので、その指示にしたがって(「To Subscribe:」という部分を見れば良い)手続きを行えば、メーリングリストに登録される。活発なWGでは日に十数通程

### WG 議題の例: 第56回のMobile IP WGの議題

```
IP Routing for Wireless/Mobile Hosts WG (mobileip)
Monday, March 17 at 1300-1500
=====
CHAIRS: Basavaraj Patil
<Basavaraj.Patil@nokia.com>
Phil Roberts <PRoberts@MEGISTO.com>
Gabriel Montenegro <gab@sun.com>
AGENDA:
1. Agenda and WG Document Status 10 Mins
(Chairs)
2. Mobile IPv6 - IETF LC issues update 30 Mins
I-Ds:
o draft-ietf-mobileip-ipv6-21.txt [15]
o draft-ietf-mobileip-mip6-ha-ipsec-03.txt [15]
(Jari Arkko, Charles Perkins)
3. Connectathon Update on Mobile IP protocols 10
Mins
(Samita C.)
4. Registration Revocation in MIPv4 - LC issues update
15 Mins
I-D:
o draft-ietf-mobileip-reg-revok-05.txt
(Steve Glass)
...
```

度からミーティングが近づいてくると何十通と送られてくるので、しっかりフォローしてほしい。また、WGで発行しているInternet DraftやRFCは、そのWGが現在討議している話題であるので、それらにも目を通すようにしてほしい。これらは、WGのページに「Internet-Drafts」「Request for Comments」という項目があり、そこにリストされているので、それらを参照すると良いであろう。

ところで、IETFのミーティングに参加していて楽しいのは、実はWGの成立にかかわることかもしれない。自分が興味を持っている話題がWGとして取り上げられ、Internet DraftがRFCになっていくさまを見るのはなかなかおもしろいものである。実際に自らWGを立ち上げRFCを作っていくことはなかなか難しいが、その現場に立ち会うことは比較的容易である。その様子を見ながら、「次は自分でWGを」と思うのもいいかもしれない。

すでにお話したとおり、WGを設置するためには2度のBOF(Birds Of a Feather、ある事柄に関心を持つ人々が自発的に集まる会合)を経てWGの目的(「Charter」という)を決め、IESG(Engineering Steering Group)に諮らなければならない。というわけで、プログラムの中でBOFと書かれたものの多くはWGの設置を目指して活動を開始したものである。したがって、こうしたBOFの中から興味のあるものを見つけ出して参加してみると良いであろう。すでに、第57回のプログラム案 [URL03](#) が掲載されている。

## エリアミーティングが登竜門

IETFミーティングでは各WGのミーティングだけでなく、エリア単位のミーティングも行われている。これは、各エリア共通の話題を議論したり、エリア内のWGが連携したりするためのミーティングである。興味のあるエリアのミーティングが行われるなら、ぜひ出席されると良いであろう。

第57回のプログラム案によると、すでにアプリケーションエリアとセキュリティエリアのミーティングが計画されている。

ところで、初めてIETFに参加されるなら日曜日のいくつかのプログラムに参加されることをおすすめする。まずお昼過ぎに「New Comer's Orientation」が行われる。ここでは、RFCになるまでの過程やWGについてなどIETFに参加するために必要な基礎知識を講義してくれる。ある意味、IETFでの「お作法」を学ぶ機会かもしれない。

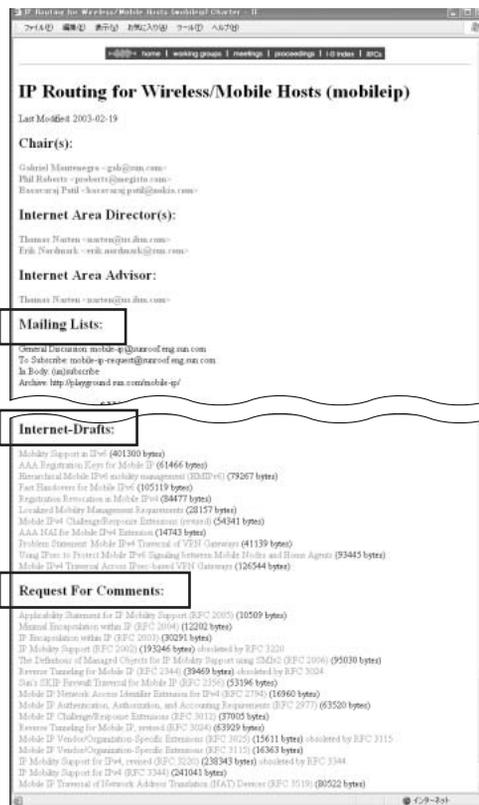
続いてチュートリアルが行われるが、毎回適当なエリアが選ばれてホットな話題について講義してくれる。このところセキュリティに関するチュートリアルが多いが、非常によくまとまっているので参加する価値は大きいであろう。

IETFミーティングは、議論の場であるので、きちんと予習をして行かないとい

ていくことはまず不可能である。そういう意味で、最初は欲張らず自分にとって重要な話題を議論するWGを選び、しっかりと予習することをおすすめする。英語での議論は非常にタフなので、しっかり体調を整えて参加されると良いであろう。日本からの参加者数はいつも2位か3位となるほど非常に多いが、実は議論に参加している日本人はほとんどいないのが現状である。そういう意味で単に見に行くだけではなく、議論に参加することを目標にIETFミーティングに出かけていただきたい。ぜひ、ウィーンでお会いしましょう。

- [URL01 http://www.ietf.org/maillist.html](http://www.ietf.org/maillist.html)
- [URL02 http://www.ietf.org/html.charters/wg-dir.html](http://www.ietf.org/html.charters/wg-dir.html)
- [URL03 http://www.ietf.org/meetings/agenda\\_57.txt](http://www.ietf.org/meetings/agenda_57.txt)

画像1: Mobile IP WGのウェブサイト



「Mailing List」の指示に従って参加し、「Internet-Drafts」「Request for Comments」をチェックして予習する。  
[URL http://www.ietf.org/html.charters/mobileip-charter.html](http://www.ietf.org/html.charters/mobileip-charter.html)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)